

PHJ メールニュース 2011年2月号  
送信日時： 2011年2月22日



PHJ メールニュース読者の皆様

PHJ の事務所がある建物の横の紅梅が良い香りをはなっています。皆様お元気ですか？PHJ  
メールニュース 2011年2月号を配信いたします。

PHJ メールニュースは PHJ の活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、  
インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メール  
でご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ  
運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを  
支援してくださっている方々にお送りしています。

.....  
PHJ メールニュース 2月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 第42回運営委員会へオブザーバーとして出席した会員の声
- 1-2. 武蔵野市特別養護老人ホームへ介護用品を寄付していただきました
- 1-3. トレッキング募金をいただきました

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 子宮頸がん、乳がん予防教育
- 2-2. ベトナムでの乳がん予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 保健改善、母子保健改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-3. 超音波診断研修

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 保健センターと村とのネットワーク向上 - コンポントム州
  - 4-2. 伝統楽器のコンサート
  - 4-3. 外務省との覚書更新しました
  - 4-4. 「安全なお産」支援募金は有効に使われています
- .....

## 1. PHJ 本部のニュース

### 1-1. 第 42 回運営委員会にオブザーバーとして出席した会員の声

2 月 17 日に開催した PHJ 各事務所の報告と出席者のご意見、提案を頂く運営委員会には運営委員 15 名のほかに 19 名のオブザーバーが出席してくださいました。オブザーバーとして出席された方々からは「PHJ の活動報告を直接、現地で頑張られている方から生の声を聞き大きな感激と支援の大切さを知ることが出来ました。あっと言う間の 2 時間でした」「今まで NGO 活動を対岸から眺めていたと気づきました。次回も出席させてください」とのコメントをいただきました。

### 1-2. 武蔵野市特別養護老人ホームへ介護用品を寄付していただきました

ユニ・チャーム株式会社様が大人用紙おむつなどの介護用品108アイテム・合計217箱(トラック3台分)を、PHJを通じて武蔵野市内の特別養護老人ホームに寄贈しました。寄贈先となった特別養護老人ホームは、ゆとりえ／吉祥寺ナーシングホーム／武蔵野館／親の家／ケアコート武蔵野／さくらえん の6つの施設。取りまとめ役としてこれらの施設に商品を分配して下さった社会福祉法人武蔵野「ゆとりえ」阿部敏哉 統括施設長は「普段からよく使っている信頼ある商品で、災害時の予備としても確保できるため感謝しています。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4d5240ab51ce3>

### 1-3. トレッキング募金をいただきました

1月号のメールニュースでお知らせしたランニング募金についてPHJのブログをご覧になった会員の方から、山歩きの会の会費の半分相当額をご自分のお財布から寄付しますと嬉しいお申込みをいただきました。月2回の山歩きで、2010年には20回、延べ140人が参加し、会費14,000円。その半額相当の7,000円をご自分の意思としてPHJへ寄付していただきました。これからも山歩きを続け、健康を楽しみ、PHJへの寄付を通して途上国の人々の健康に貢献したいとメッセージを送っていただきました。ランニング募金の方も、賛同する方が2名増えましたと知らせていただきました。

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/)

\*\*\*\*\*

## 2. PHJ タイ事務所のニュース

### 2-1. 子宮頸がん、乳がん予防教育

外務省の助成金対象プロジェクトの検討のためタイ担当スタッフが1月に出張チェンマイ

領事などと面談。1月には9日でサラピー郡、サンカンベーン郡内の工場や病院で健診キャンペーンを実施しました。合計890名が受診しました。1月14、20日には2郡の26村から220名のヘルスボランティアのトレーニングを実施。1月17、18日には2郡の看護師36名へのトレーニングを実施しました。17日には総領事を招き、医療機器の寄贈式を開催しました。1月27日にはプロジェクト担当のヤオとジラナン所長がバンコクでの会議に出席しました。

## 2-2. ベトナムの乳がん予防教育

2011年1月から12月までテストプロジェクトとしてハノイでの乳がん予防教育をスタートしました。目的はPHJ自身によるプログラム展開の可能性をさぐるためです。なぜベトナムを選んだのかというと増加するがん治療とケアサービスの要求に保健・医療施設が対応しきれていないうえ、市民のがんについての知識が低いこと考慮したからです。対象地域はハノイ市6自治体での女性自治グループに住む30-75才の女性1,200名。パートナーとしてベトナム政府のNGOのサポート機関PACCOM、女性自助プログラム、ベトナム赤十字傘下のCASCDを選びました。1月12、13日タイのジラナン所長がそれぞれ14名のCASCDと女性自助グループ、27名の女性自助グループメンバーのトレーニングを実施。4つの乳房モデルを寄贈しました。

\*\*\*\*\*

## 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

### 3-1. 保健改善、母子保健改善活動 — テイルタヤサ自治区

1月は「妊娠の兆候」「難産の兆候」と「口腔衛生」をテーマにしました。妊娠中は伝統的な薬を飲まぬよう強調しました。またヘルスボランティアの教育として、毎月実施している幼児の身体計測の記録、報告、管理が徹底されているかの点検も行いました。

### 3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区

3回目のメニューコンテストのメニューを普及する教育を3村で実施しました。出席者間で食材の選択について活発な意見が行われています。4回目のメニューコンテストのテーマを「魚」と決定し、メニュー考案の宿題をだしました。

### 3-3. 超音波診断研修

1月のメールニュースでもお知らせしましたが、聖マリアンナ医学大学の桜井技師を講師として1月18日から1週間第4回画像診断研修を実施しました。今まで研修に参加した7名に加え、新たに5名の医師が加わり12名の研修となりました。内4名は県内の診療所の医

師でした。前回の研修で高評価を得た 2 名をアシスタントとし、超音波診断機器も 2 台で効率的な研修を終えました。

\*\*\*\*\*

#### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

##### 4-1. 保健センターと村とのネットワーク向上 - コンポントム州

カンボジアでは米の収穫を終え結婚式のシーズンに入りました。PHJ の事業活動も評価とレビューを行う時期になりました。定例のモニタリングワークショップを実施し、評価活動の一環として行われるサーベイを準備しました。28 村で保健教育を実施。トピックは「栄養」と「産後健診」参加者は 1 村平均 49 名、計 1,361 名でした。保健教育の開催の段取りは保健ボランティアがきちんと対応できるようになりました。衛生モニタリングで 12 月と 1 月は 100 点満点で 95 点以上を維持しています。

##### 4-2. 伝統楽器のコンサート

カルテイエ社様から支援を頂いている学校から 2 組が 1 月 8 日地元文化局主催コンサートに出演しました。局長からカルテイエ社に感謝状が授与されました。

##### 4-3. 外務省との覚書更新しました

2 月 5 日 コンポントム州バライサントク・フェーズ II の現地視察をうけいれました。外務省との組織登録に関する覚書を更新できました。これから 3 年間有効な覚書です。

##### 4-4. 「安全なお産」支援募金が有効に使われています

2010 年春から実施している妊婦健診・分娩奨励キットの配布は、第 1 期分として 4 保健センターに夫々 125 個ずつ配布しました、1 月までに累計で妊婦検診キット 500 セット、分娩奨励キット 418 セットを配布しました。「安全なお産」支援募金は本当に有効に使われていますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

[http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei\\_02](http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02)

\*\*\*\*\*

---

■ クリック募金にご協力ください！

#### イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料

のでできるいいこと」に参加しています。 <http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

---

PHJ メールニュース 2011 年 2 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。  
このメールニュースへのご意見、ご要望は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までお送りください。  
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までメール  
ニュース配信不要とご連絡ください。

\*\*\*\*\*

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail：[info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org)

URL：<http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン

\*\*\*\*\*